

第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	○	事業コード	1050112
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名 健康福祉部	課等名 健康推進課 高齢者福祉課	班等名 予防班 包括支援班
--------------	------------------------	---------------------

事業(予算)名	筋力アップのための健康づくり教室事業							
総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策5 活力ある充実した生活を支える健康づくり・医療体制の充実						
	施策の展開	(1) 健康づくり活動の推進						
予算科目	会計	介護	款	3	項	3	目	1
関連計画・根拠法令等	健康増進計画、介護福祉計画							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H28				未定			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	少子・高齢化が進む中、健康を意識しスポーツやウォーキングなどを行う市民も増えている。「いつまでも元気でいたい」と考える市民は多く、これからも介護を必要としない期間をどのようにしてのばすかが課題である。							
	対象(誰・何を)	40歳以上の市民を対象に筋力アップ教室を実施する。							
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	一般市民を対象に、日常のウォーキングに加え、筋力トレーニングの習慣化をねらいとした実践的な健康運動教室を開催し、参加者が自主的にロコモディブシンドローム予防に取り組めるような支援をする。セラチューブを用い順天堂大学の協力により専門的・科学的なプログラムにて筋力アップトレーニングを実践する。 教室終了後には自分自身の筋力量の変化などをデータで見ることで、その成果や運動の必要性を実感することができる。終了後も生涯継続していくことが可能となるよう支援していく。							
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()							
	事業手法選択の理由	専門的・科学的プログラムによる筋力アップ教室のため、包括連携協定を締結している順天堂大学に委託し実施する。							
	協働の取組	無	協働の取組内容						

指標	指標	単位	目標値			指標として設定する理由	
			H30年度	R元年度	R2年度		
	筋力量が増加した参加者の割合	%	100	100	100	本事業は筋力量を増加させることが目的のため	
	後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
	総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
			()				
		()					
		()					

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
筋力アップのための健康づくり教室事業	健康福祉部	健康推進課高齢者福祉課	予防班包括支援班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
筋力量が増加した参加者の割合	%	100	64	100		100	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	目標値に到達はしなかったが、参加者からは筋力が向上したことにより変化を感じているという声があり、約6割以上の方に膝伸展(下肢)筋力改善が得られた。ロコモ度の変化については、約9割以上維持・改善した結果から、ロコモティブシンドローム予防の効果が得られた。また、プログラムの中に栄養指導も含まれていることで、参加者の意識の改善から筋力の向上に繋がった。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	参加者にとって、ロコモティブシンドロームの予防効果が高いと思われる。「家庭での継続」を長期目標としているため、継続していくためのモチベーションをどのように維持・向上していくのかを検討し、継続教室及び、フォローアップ教室を実施し、トレーニングの継続支援を図っていく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート

新規・継続	新規	主要事業	×	事業コード	1050212
-------	----	------	---	-------	---------

→ 【継続】の場合の区分

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	健康推進課	予防班

事業(予算)名 健康増進計画策定事業

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策5 活力ある充実した生活を支える健康づくり・医療体制の充実						
	施策の展開	(2) 保健サービスの充実						
予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	1
関連計画・根拠法令等	健康増進法第8条							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H30	健康増進計画第2次策定の年度となるため			H30	年度内に健康増進計画の策定を終える予定のため		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	生活習慣の変化や食生活の偏り、運動不足等により、生活習慣病の増加や介護を必要としている方が増えているため、生涯にわたり質の高い豊かな生活を送るための取り組みが必要である。						
	対象(誰・何を)	市民や関係機関・団体、事業所、行政等が互いに協力し健康づくり活動を推進していく。						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	課題・ニーズの解決に向け、市民や関係機関・団体、事業所、行政等が、それぞれの役割と責任を果たしながら、協働により総合的かつ効果的に健康づくりを推進するための指針として「健康増進計画 第2次」を策定する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	さまざまなデータ収集、市民アンケートの発送、集計など専門的技術を要するため						
	協働の取組	有	協働の取組内容					

指標	指標	単位	目標値			指標として設定する理由
			H30年度	R元年度	R2年度	
	計画策定の進捗状況	%	100	-	-	事業の実施結果でしか指標として設定することができないため
	後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
	総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
			()			
			()			
			()			
			()			
			()			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
健康増進計画策定事業	健康福祉部	健康推進課	予防班

第四次実施計画	指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
			計画策定の進行状況	%	100	100	—	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	・近年の急速な少子高齢化の進展や生活習慣病の変化とともに、疾病構造等も変化し、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、歯周病等、市民を取り巻く環境も大きく変化している中、国・県の指針をもとに現状を踏まえた「健康増進計画(第二次)」、「食育推進計画(第二次)」並びに「自殺対策計画(第一次)」を一体化した『富里市健康プラン』を策定したことにより市全体で健康づくりを着実に推進していく道筋ができたことは、相当程度効果があったと判断できる。
		実績値を踏まえた今後の方針	予定通り事業終了
		今後の方針の理由及び今後の予定	・健康づくりを取り巻くさまざまな環境の変化に対応するため、5年後を目途に計画の評価及び中間見直しを行う。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
成田市急病診療所運営事業	健康福祉部	健康推進課	予防班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	協定協力団体数	団体	5	5	5		5	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	・本市の受診者数は全受診者数9,332人のうち1,276人であり、13.67%であった。昨年度の受診者割合は13.5%であり割合として増加していることから、相当程度の効果があったものと判断できる。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	・当該診療所については、5市町からの負担により実施しているものであり、今後も継続する必要がある。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
印旛市郡小児初期急病診療所運営事業	健康福祉部	健康推進課	予防班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	協定協力団体数	団体	9	9	9		9	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	・本市の年間受診者数は全受診者数10,048人のうち274人であり、2.73%の割合を占めている。昨年度の受診者割合は2.54%であり、割合として増加していることから相当程度の効果があったものと判断できる。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	・当該診療所については、9市町からの負担により実施しているものであり、今後も継続する必要がある。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
成田赤十字病院医療機器整備補助事業	健康福祉部	健康推進課	予防班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	補助金協力団体数	団体	9	9	9		9	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	・成田赤十字病院で予定していた高度医療機器を導入することができ、市民の高度医療を受けることが可能となったため、効果があったと判断できる。(平成30年度においては、県の平成30年度救急救命センター設備整備事業補助金により印旛保健医療圏9市町への補助金交付申請辞退という結果となったため補助金活用には至らなかった)
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	・印旛管内7市2町により相応負担により実施しているが、市民が安全で高度な医療を受けることが可能となることから、今後も継続していくべく事業である。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	